



環境支援士

発行日 2023年9月30日

発行責任者:滋賀大学「環境学習支援士」会

理事長 橋田卓也

第31号

編集責任者 理事会

URL: <http://www7b.biglobe.ne.jp/~shienshikai425/>

Email: shienshikai@yahoo.co.jp

第15回定期大会(2023年度)と今後の活動について

理事長橋田卓也

総会は、滋賀大学サテライトプラザで5月13日(土)10時30分～12時20分で開催しました。総会は、来賓の滋賀大学教育学部神部教授から「高齢化が進行中、十分健康に注意して活動して欲しい」と挨拶を頂きました。総会は出席者会員6名委任状15名、合計21名で総会成立。第1号議案 2022年度活動報告、第2号議案 2023年度活動方針(案)、第3号議案 2022年度決算報告、第4号議案 2022年度会計監査報告、第5号議案 2023年度予算(案)1から5の議案について、特に質問や意見はありませんでした。第6号議案 役員改選は、理事候補者の奴賀義春提案があり、投票で全員が賛成し承認された。以上をもって 1号議案 2号議案 3号議案 4号議案 5号議案 6号議案を一括して挙手にて賛否を取り、挙手にて採決しました。賛成多数で承認されました。

今後の活動について、昨年度1年間を振り返ると、コロナ禍が収まると思われましたがオミクロン感染が拡大し、滋賀県独自の地域レベル1～2が継続して発令された中での活動となりました。未来のびわ湖人育成の学習支援は、2022年財団法人琵琶湖淀川こども水質保全活動助成を得て推進しました。乗船前・後の出前講座は19校21回実施し昨年比105%と増加しました。自然体験活動は、わくわく環境塾 in 細川(金勝川支流)、自然体験塾大戸川探検と成功裡に開催しました。又滋賀県教育課生涯学習課からの紹介で能登川北小学校の依頼で水路の水質・生物調査を実施しました。私たちの今後の活動は、助成金の申請をせずに会費と出前講座の謝礼金で活動していきます。第13回滋賀大学環境シンポジウムを開催していきます。滋賀大学、滋賀県教育委員会、各市教育委員会学校教育課、環境課滋賀県フローティングスクール、琵琶湖博物館環境学習支援センター等の支援・紹介を得て、学校教師の協力の下県内小学校、レイカディア大学、自治体コミュニティー、学童保育、保育園、企業へ出前講座を実施して行きます。これまでの出前講座の実績を積み上げて、延べ200回以上17,000名を超える環境学習支援活動に取り組んできています。

長浜市立余呉小中学校出前講座報告

5月10日草津駅6時53分発余呉駅8時13分着駅で余呉小中学校教頭先生が出迎頂き8時20分頃等学校到着し、1時限～2時限の出前講座を実施しました。担任の川田先生から「うみのこ」の乗船前授業の目的等紹介いただき5年生15名の1時限目の「びわ湖の昔・今・これから」の授業を行いました。2時限目のWSは、全員発表で楽しい授業が出来ました。帰りも教頭先生に余呉駅までお送りいただきました。車中で、びわ湖学習をする機会が少なく、今日の学習で児童たちはびわ湖学習を初めて受けて乗船前の学習に役に立ったと感謝の言葉を頂きました。JR余呉駅から久々に見る余呉湖の姿を目に焼き付けて帰りました。(余呉小中学校は、昨年故佐瀬さんが出前講座をされ2年連続となりました。)



2時限目のWS 児童のびわ湖未来授業



駅から余呉湖を望む

一般財団法人セブン-イレブン記念財団 環境市民活動助成申請・辞退経過

2022年10月31日一般財団法人セブン-イレブン記念財団環境市民活動助成申請:活動分野 総合環境学習
活動内容 未来のびわ湖人育成の学習支援、山・里・湖をつなぐ川の自然体験 活動場所 滋賀県内の小学校。栗
東市細川 in 金勝川支流、大津市天神川・大戸川。

申請金額総合計 190,241 円

2023年5月10日一般財団法人セブン-イレブン助成金が採択され、当会の申請金が採択された。

2023年5月12日環境市民活動助成の助成金の受領の辞退届けを提出せざる得ませんでした。

理由:昨年末に副理事長・会計責任者が死去し、助成金担当者も退会したため5月13日の総会で役員選出を実施します。新会計担当者へ会の会計及び助成金の会計を任せることは困難です。今年度は会計の任務・仕事を習得させるため、助成金を辞退します。本当に残念です。宜しくお願い致します。 文責 橋田卓也

老上小学校における『うみのこ』事前研修会の報告

老上小学校の5年生に対する『うみのこ』乗船前の環境学習
出前講座のサポート参加の報告をさせていただきます。小生に
とって3年以上この研修から離れておりますので、サポートとし
て参加でしたが、それでも次回から単独でやらなくてははいけ
ないので、地元の小学校であったことも幸いして、自分で自分の
授業をしている感覚で、心の中で喋りながら、講師の話も聞き
ながら、進めさせていただきました。こんなことは経験したこと
がない中で、地元の小学校ということで、こんな器用なことが
できました。我ながら上手くいきました。

令和5年6月13日(火)午前の3,4時限目のサポートをさせ
ていただきました。ワークショップでは少し参加させていただきました。多分次回は自信をもって進められると存じ
ます。



草津市立老上小学校

文責 奴賀義春

甲賀市立伴谷小学校の出前講座報告

6月27日(火)3時限~4時限 10時30分から12時05分
で出前講座を実施しました。担当は前田さんと橋田で5年生は、
2組69名でした。担任の先生の協力で楽しく有意義な出前授
業を実施した。先生方のアンケート結果は、1時限目はスライド
で様々な内容を扱っておられ、沢山の発見得られて貴重な時間
でした。児童が参加できるように「問いかけ」「なんでだろう」と言
って楽しく考えながら聴けるようにされていました。しかし、改善
点としては、45分聞き続けることに不慣れの為、少し活動を！
クイズを少し増やして何問かする。手を上げ、立ったりして、意思

表示できる場面を作るなど工夫をして欲しい。2時限目のWS良かった点 大切にしたいびわ湖の姿を各自が選
び、交流するという流れを取るところで、子供たちが主体的に活動に参加出来た事 ②前半で学んだことや、「やま
のこ」でまなんだことが活かされた。改善点としては、WSで、何をやるのか、もっと詳しく説明をして欲かった。



甲賀市立伴谷小学校

先生方のアンケートの結果から、先に学校の「うみのこ」テーマを聞いて講座にいかして行きたいと思いました。

文責 橋田卓也

ワクワク環境塾 夏休み川の学校 in 細川(金勝川支流)

実施日時:令和5年8月5日(土)、9:00~12:30、

場所:栗東市立金勝小学校東側の細川、参加者:小学生24名、児童2名、保護者22名(18家族)、スタッフ:栗東市職員(環境政策課)4名、環境支援士会3名、計55名。
参加者を2班に分け、川に入り水質検査と水中生物の採集・観察・同定して水環境状況を調査しました。

川の水質はPH:6、COD値:4~8で一般的な河川の水質でした。
生物はカワムツ、ドンコ、スジエビ、ヌマエビ、カワニナ、コウニヤンマなどの色々な多くの生物が採取できました。

また、きれいな水に住むナガレトゲラも1匹採取できました。

昨年と比べると採取した生物の種類や数が少し少なかったと感じられました。真夏の日差しの強い中で、滞りなく終わることができました。



たも網で水生生物調査



水質測定:透視度測定



公民館でグループ討議



グループごとに感想発表

文責 階元謙一

「琵琶湖淀川子ども水質改善活動助成報告会」

8月24日(火)午後大阪にて琵琶湖淀川子ども水質改善活動助成報告会が開催され前田、橋田が参加しました。大阪の天満橋にある男女共同参画センター(ドーンセンター)にて14時から16時過ぎまで5団体の報告が行われました。団体報告の最初の報告で橋田が滋賀県内での「うみのこ」の乗船前の出前講と夏休み川の学校 in 細川(金勝川支流)と大戸川の水質、生物調査の結果を報告しました。発表後の質疑応答で、乗船前の出前講座の効果を見るために乗船後の出前講座はどんな状況ですかという質問が出され、2つ乗船後の出前講座を紹介した。学校からの要望に応える内容で1つは、乗船後の児童の質問に答えるという一問一答のフリートウキングで児童の疑問や課題深める授業を担当の先生含めて実施しました。2つは大戸川の水質・生物調査を実施し大会議室でまとめを実施しました。その後、大戸川の流域面



発表に対する質問

積の森林から生まれる大戸川～淀川～海へ「水の循環と私たちが使える水」の出前授業を行い森林・川・海の役割について実施しました。

<p>活動成果発表会 5団体 ・発表 10 分 ・質疑応答 ・入替え 5 分</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 滋賀大学「環境学習支援士」会2. 京都府立洛水高等学校3. 甲賀の環境・里山元気会4. 京都府立北嵯峨高等学校5. 福住こどもエコクラブ <p>全体意見交換・講評</p>
--	--

発表時間と質疑応答含めて15分ということで時間的には不足気味でしたが活動の内容や成果は参加者や琵琶湖淀川水質保全機構には十分に伝わったと思いました。

最後に講評がありましたが、昨年に引き続き、発展的に活動継続して欲しいということでした。

文責 橋田卓也

湖南省市菩提寺北小学校出前講座報告

環境学習支援士会復帰後 2 件目の出前講座を菩提寺北小学校でさせていただきました。事前の確認訪問を怠った報いをしっかり受けました。家を念のため、予定より1時間前に出たにも拘わらず、学校の直前の商店で教えて貰った道が高速の下で右へ入るところ、左へ教えて貰い、迷いに迷って散歩のおとうさんに聞いて、やっと正しい道を教えて貰い、学校へ5分遅れで着いてしまいました。恥ずかしい限りでした。2度とこんなことにならないように、初めての学校は事前訪問しておこうと強く思いました。令和5年9月7日(木)のI、2時限目の授業を担当いたしました。授業の方は2度目のことで、余裕を持って進めることができました。子ども一人一人の確認することができ、理解度を確認しながら進めました。ワークショップも先生の意見を取り入れて、今までのやり方の変更を試み、生徒全員の意見を反映させるような纏め方しました。解りやすく、乗船後の授業にも利用しやすくなり、良いのではないのでしょうか。

乗船後の授業の効果を聞いてみたいと存じます。前回の老上小学校の時より1時間授業が短かったのは少し残念でしたが、何とか自分なりに良い授業ができたのではないかと存じます。質問も良く出たことも良かったと存じます。



湖南省市立菩提寺北小学校

文責 奴賀義春

合同部会活動内容

合同部会(自然環境部会、琵琶湖部会、学校地域部会)の上半期の活動は、「未来のびわ湖人育成の学習支援」出前講座を学校からの申請を受けて、其々の会員が担当して実施しました。上期は 8 校 8 回実施しました。これは前年度上期に比べ減少しました。しかし、会員の高齢化の中でよく奮闘しました。特に、今期からフローティング「うみのこ」乗船が一泊 2 日の乗船になり、小学校も真剣に学ぶ体制づくりが読み取れます。

滋賀大学「環境学習支援士」会としての「未来のびわ湖人育成の学習支援」の出前講座の検討会を 2 回実施しました。是非、「うみのこ」の学習講座の興味のある方は、毎月第 2 金曜日午後 13:00～15:00 滋賀大学教育学部 425 号室へお集まりください。出前講座の講師を募集しています。ワクワク環境塾 夏休み川の学校 in 細川(金勝川支流)は栗東市と共催して 10 年目 10 回継続して栗東市と共催して実施しました。以下上期の実績です。

文責 橋田卓也

2023 年度上期「うみのこ」出前講座実績一覧

	学校名	実施日	クラス	児童数	講師名	講師数
1	長浜市立小谷小学校	4月25日	1	12	三田村	1
2	長浜市立余呉小中学校	5月10日	1	15	橋田	1
3	大津市立日吉台小	6月7日	1	24	前田	1
4	老上小学校	6月13日	4	146	前田、橋田、(奴賀実習)	2
5	近江八幡安土小学校	6月19日	3	112	三田村、橋田、奴賀	3
6	甲賀市伴谷小学校	6月27日	2	69	前田、橋田	2
7	わくわく環境塾 in 細川	8月4日	18 家族	24	階元、前田、橋田	3
8	長浜市永原小	9月4日	1	14	三田村	1
9	菩提寺北小学校	9月7日	2	53	橋田、奴賀	2
計			15	445		13

温暖化防止部会の活動内容(2023年4月～2023年9月)

2023年9月25日

毎月の定例会では、地球温暖化に関連したテーマを取り上げて、各担当者がそのテーマについての話題提供を行い、会員との自由闊達な議論を行い、問題がどこに有るのか、解決策はどうすれば良いのかの議論を行った。このことを通じて、地球温暖化の今日的課題を把握すると同時に、議論を通じて部員の老化防止につなげたいと考えている。緩和策と適応策のアプローチは今までと同じである。

しかし、この期間は、会員の体調不良と命に危険のある酷暑の為、会合が思うように出来なかった。

【緩和策】

○「プラごみについて」(2023年5月)

2022年4月1日「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行された。この法律施行に当たって、賛同23団体の意見を入手し、それに基づいた議論を実施した。①見えない健康被害②ペットボトルの再利用③リサイクル出来るような仕様等について議論を重ねた。

【適応策】

○「地球温暖化と大雨」(2023年9月)

今年も世界各地で異常な雨が降り、豪雨による被害が出ている。地球温暖化がこの現象にどの様に関与しているのかを「イベント・アトリビューション」によって、証明している報告を基に議論した。私達の行動は如何にして、この災害から如何に逃れるかである。

【その他】

○「量子コンピューターについて」(2023年4月)

そもそも量子コンピューターとは「なんだ」から入り、会員全員が理解不能で沈没した感じである。最近入院の経験を持つ会員が多いが、最終的な判断は個人に任されている。科学の進歩についても、それなりの判断をすることが必要。

滋賀大学環境シンポジウム実施予定

昨年諸般の事情により実施されなかった滋賀大学環境シンポジウムを本年は実施いたします。最近、大雨の頻度、程度が増加しており、我々の生活に大きな影響を与えている。そこで、地球温暖化がこの現象の大きな原因と考え、その原因を正しく理解し、ここから生じる被害にどう対処するかを考えるシンポジウムを設定しました。

テーマ「地球温暖化と豪雨」～頻発化、激甚化する豪雨災害にどう対応するか？～

日時:2023年12月2日 13:00から17:00

場所:滋賀大学サテライトプラザ(JR 大津駅前 日本生命大津ビル 4階)

お二人の講演者から、ご講演を頂きます。

1)京大防災研究所長中北教授による基調講演

「地球温暖化と大雨」

中北教授は、気象レーダを用いたゲリラ豪雨・集中豪雨の予測から地球温暖化に伴う雨の降り方の将来変化に至る様々なスケールの降雨現象を研究し、豪雨がもたらす洪水や浸水と関わる人間の生活場に関する研究を行っています。

2)滋賀県流域治水政策室長補佐 山田千尋氏による講演

「滋賀の流域治水と水害に強い地域づくり」滋賀県の流域治水は全国に先駆けて実施されている政策です。①どのような洪水にあっても、人命が失われることを避け(最優先)、②生活再建が困難となる被害を避けることを目的として、川の中の対策に加えて川の外の対策を、総合的に進めていく治水政策です。

是非、滋賀大学環境シンポジウムに参加し、地球温暖化が大雨とどの様な関係にあり、私達はどの様に適応していくのかを、考えたいと思います。

文責:橋本繁

編集後記

新型コロナ感染症は「2類相当」から5月8日から季節性インフルエンザと同じ「5類相当」に引き下げられました。ところが、オミクロン株の変異によりコロナ感染増加と季節性インフルエンザとの同時流行で学級閉鎖も多発しています。これからも3密対策等十分な対策が必要です。現在、上半期4～9月の「うみのこ」出前講座は昨年比少ないですが、申し込みがあり少ない講師で奮闘しています。下期の出前講座の申込は増加するようで大いに期待したいです。また、講座申込学校なかで5クラスの学校あります。講師数が減少している中で会員の皆さんの参加を求めています。

11月下旬から12月2日に実施する「環境シンポジウム」は、昨年度休止しましたが、本文にもありますように2023年度は実施します。現在準備が進んでおり期待していただくとともに、是非シンポジウムに参加をお願いいたします。機関誌に投稿していただいた会員各位に感謝しつつ、引き続き投稿をお待ちしています。

文責 橋田卓也